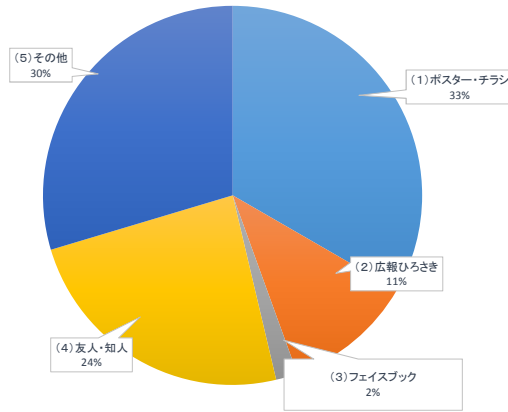
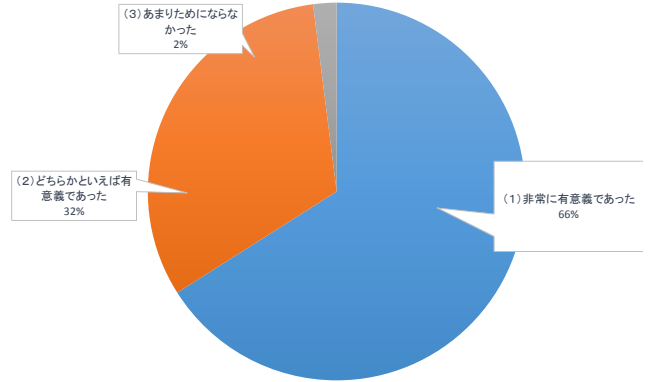


平成27年10月24日(土)市民公開講座アンケート集計(n=52、回収率59%)

1. この講演を何でお知りになりましたか



2. 本日の講座はためになりましたか



2. (1)～(3)で回答されたのは具体的にどのような点かご記入をお願いします

東谷さんの講義大変勉強になりました
事例を挙げて説明して頂いた事・現実的な事と認知症への柔軟な考えに感銘した
分かりやすかった
家族会の具体例がとても良かった。「ぼけないように」「ぼけてもいいように」両方やってみる⇒具体例が良い。特に子供の頃、老年期の比較が分かりやすくてとても良かった。
認知症の方の話がすごく若い方でしたが非常に心打たれました。今後こういう場所があれば参加していきたいと思いました。
演題1～3まで全て・有意義でした・認知症に対する考え方
在宅支援の状況と課題、手続きの仕方・これからの対策等について
各相談窓口の紹介
がんばらない介護という言葉聞いて少し楽になりました
仕事として認知症を理解しようとしていたが、目が覚めた。人として自分よりも先輩の方とどう接していけばいいか、考え直した
認知症の困った事例に対する具体的な対応方法・・・車の鍵・・・違う鍵を用意する・・・なるほどと思った。認知症の治療について聞きたかった。
もう少し具体的にわかりやすい話が聞きたかったです。
解りやすく認知症になっても対策があれば大丈夫という考えを持って退所していきたいと思います。
認知症に向きあう！！という対応がいいのか、扁桃の仕方など具体的に知りたい、知りたかった。
須藤先生のような医師が多くなることを願います
どこに相談すればいいのかわからなかったが、具体的にどこに行けばいいのかわかった。
初めて参加した私は84歳で夫を介護していますが救済に暗闇です。今日は少しリフレッシュ出来たと思ってます。
少し考え方の転換が出来た。
スライド見ながら具体的な内容が分かりやすかったです。
もっといろんな事例をききたかった
私も両親を養女として19年間みとりました。又死んで13年、母3年で「認知症の大と家族の苦」の東谷康生先生、「すとクリニック」の院長の須藤武行先生のお話よくわかりました。何が聞いてやばくしく思ってた聞かせてもらいました。
地域全体がほんの少しだけ意識が変われば全ての人にとって暮らしやすい場所に成り、生まれた場所で最後まで生活できるのではと思いました。意識を変える一人となります。
認知症と年齢相応の物忘れの違いを具体的に知らせて欲しい。
高齢者認知症と事故の特徴を知らせて欲しかった。事故者の病歴等

3. 今後も参加したいと思いますか

